

<ナゴヤ学びのコンパスで目指したい子どもの姿>

ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける子ども

<校訓>

「強く 正しく 清らかに」

<めざす学校像>

心のつながりを育む学校

～自分を大切にし、仲間を大切にする子どもたちの育成を目指して～

<めざす子どもの姿>

- ・自分のよさや価値を見つける
- ・仲間をよさを見つける
- ・何事にも意欲的に取り組む
- ・自分で考え、判断する

<めざす教師の姿> **よき伴走者に**

- ・子どもの言葉に耳を傾ける
- ・子どもの心に寄り添う
- ・柔軟な心と探究心 ・積極的な授業改善
- ・心身ともに健康

子どもたちのつながり

<未来へのつながり>

- キャリア学習
- 「振り返り」と自己調整

<仲間とのつながり>

- 自分のよさや仲間のよさ
- 仲間の気持ちや命の大切さ

安心

大人がつながり子どもたちを支える

安全

学校・保護者・地域・外部機関等のつながり

<教職員のつながり>

- 情報共有・職員同士の連携
- 互いに認め合い、協力し合う職員
- 幼小中職員の連携

<保護者とのつながり>

- 学校行事参加
- 各種便り・学校ホームページ・絆ネット
- PTA活動
- 随時の相談

<地域とのつながり>

- 学校行事・学校開放
- 学校ホームページ
- いじめ問題行動等防止会議
- 学区の行事

<外部機関等とのつながり>

- こども応援委員会・警察署・児童相談所等の外部機関
- キャリアナビゲーター

<令和7年度 学校努力点>

「ともに 学ぶ」

～個別最適な学びと協働的な学びを通して～

私は、「心のつながりを育む学校」を目指しています。

私は、子どもたちに「自分のよさや可能性を見つけ」「他者のよさや価値を見つけ」、様々な人々とつながり、夢を未来につなげ一歩ずつ進んでいって欲しいと考えています。

教師は、子どもたちのよき伴走者となります。

「傾聴と対話」を意識して子ども一人一人とつながり、教師同士も情報共有して深くつながります。

また、学習指導においては、ICTを活用し、すべての子どもたちと教師、子どもたち同士がつながります。

そして「できた」「わかった」を実感させたり、仲間とともに課題を解決させたりしていきます。

周りの大人がつながることも大切です。

学校、保護者、地域、外部機関等が互いにつながり、また、直接子どもたちとつながり、支えていくことが大切だと考えます。

そうすることで、子どもたちは、「安心」「安全」に学校生活を送ることができ、未来へ向かって進んで行くことができると考えます。

これらの考えを基にして、私は「心のつながりを育む学校」を目指します。